

奉納踊り

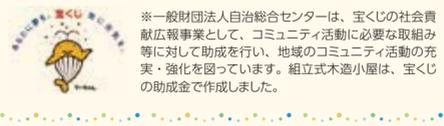
青山一丁目町会、南青山一丁目町会、青山南一睦、青山南一商振会が実施する奉納踊りは、毎年9月の最終金曜日から日曜日に開催されます。都内で行われる最後の盆踊りといわれており、夏を惜しむ大勢の方が港区内外から参加します。

また、会場には65年振りに新調された組立式木造小屋にお神輿、山車も展示されます。

●対象者：どなたでも
●日時：9月29日(金)～10月1日(日) 18:00～21:00
●場所：区立青葉公園(港区南青山1-4-4)
●申込み：当日直会場へ

●問合せ／赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
電話：03-5413-7272

※一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な取り組み等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図っています。組立式木造小屋は、宝くじの助成金で作成しました。



赤坂・青山地域 イベントカレンダー

9月、10月に、赤坂・青山地域で開催されるイベントをご紹介します。近所の皆さんをお誘いの上、ぜひご参加ください。

乃木神社 例祭	9月13日(水)
金王八幡宮 例大祭	9月14日(木)～9月17日(日)
Swing赤坂	9月14日(木)、9月15日(金)
赤坂通り秋まつり	9月15日(金)、9月16日(土)
赤坂氷川祭	9月15日(金)～9月17日(日)
豊川稲荷東京別院 大岡公報恩祭	9月22日(金)
奉納踊り	9月29日(金)～10月1日(日)
青山熊野神社 例大祭	9月30日(土)、10月1日(日)
青山祭	10月27日(金)～10月29日(日)

この情報誌は赤坂青山地域に在住在勤在学者または赤坂青山地域のために活動したいという編集委員の方々が作成しています。ご興味のある方はぜひお問い合わせ下さい。

赤坂青山地域情報誌 第41号
平成29年(2017)9月発行
編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課 〒107-8516 港区赤坂4-18-13
電話：03-5413-7013
FAX：03-5413-2019 (発行部数 24,500部)

●「赤坂青山共育」で検索！
●問合せ／協働推進課 地区政策担当 電話：03-5413-7013

赤坂地区総合支所からのお知らせ

赤坂青山子ども中高生 共育事業

秋も共育事業は楽しい講座が目白押し！今回は下記の講座を実施します。詳細は「共育情報局」に順次アップしていきます。*各種講座は赤坂地区に在住・在学の子どもの対象となります。

文化系プログラム

プログラミングに挑戦！好きなキャラクターを選んでアニメーションを動かそう！

日時：平成29年9月23日(土・祝) 10:30～12:00

日本オラル株式会社を講師に、プログラミングソフトを使ってキャラクターを動かしながら楽しくプログラミングについて学びます。(対象:小学4～6年生)

Let's Try! 英語でクッキング!英語を交えて楽しくお料理しよう!

日時：平成29年12月16日(土) 14:30～16:00

野菜ソムリエ上級Pro.である田上有香さんを講師に、英語を交えながら楽しくパーティーメニューをクッキング! (対象:小学3～6年生)

スポーツ系講座

北京・ロンドン五輪 バドミントン日本代表 池田信太郎さんと楽しくバドミントン体験+いのちの教室

日時：平成29年10月28日(土)

バドミントン元日本代表の池田信太郎さんを講師にお招きし、バドミントンの楽しみ方を学ばず運動講座。当日は、池田さんが講師となり、子供たちにAEDの正しい使い方と心臓マッサージの方法を伝える「いのちの教室」も実施します。(対象:小学1～6年生)

パラスポーツ体験! ブラインドサッカーをやってみよう!

日時：平成29年11月18日(土)

現役ブラインドサッカー選手の葎原 滋男さんを講師にお招きし、友だちとのチームワークやスポーツの楽しさを学びます! (対象:小学1～6年生)

野球寺子屋 課外授業

日時：平成29年12月9日(土)

元東京ヤクルトスワローズの矢野和也さんと加藤幹典さんを講師に迎え、青山運動場の広いグラウンドで野球の楽しさ、スポーツマンシップを学びます。

ホームページ <http://www.akasaka-aoyama-tomoiku.net>
Facebook <https://www.facebook.com/akasaka.aoyama.tomoiku/>

●「赤坂青山共育」で検索!
●問合せ／協働推進課 地区政策担当 電話：03-5413-7013

ホームページ <http://www.akasaka-aoyama-tomoiku.net>
Facebook <https://www.facebook.com/akasaka.aoyama.tomoiku/>

●「赤坂青山共育」で検索!
●問合せ／協働推進課 地区政策担当 電話：03-5413-7013

60周年写真展 「青山一丁目町会の今昔物語」のお知らせ

今年で60周年を迎えます青山一丁目町会では町の発足から今日まで、町会に暮らす皆さまからご提供いただいた写真や当時を物語る資料の数々が構成する「60周年アルバム」を作成しました。

このたび、三菱地所プロパティマネジメント株式会社の協力で、青山一丁目駅と青山ツインビルを昼間に利用する多くの方々に、この町がどのような「歴史と経緯」を経て誕生し、成長してきたのかを知ってもらい、町会が実施してきた各種事業にも理解を深め今後の活動への参加のきっかけとなることを目指して開催することといたします。

展示内容

60周年アルバムの作成のために、青山一丁目町会の皆さまや関係機関にご提供いただいた写真や資料に加え、展示にふさわしいと思われる動画や品々を展示します。現在でもこの町会には発足当時の共同意識が大切に維持されていることを伝えるものとしています。

実施概要

日時：平成29年11月5日(日) 9:30～11:30
場所：港区立赤坂中学校(港区赤坂9-2-3)

写真展の構成メンバー

昭和20年代から地元にお住まいの方々を中心として写真展の構成は行いました。

日時：10月3日(火)～10月6日(金)
場所：青山ツインビル 地下1階 イベントスペース

●問合せ／三菱地所プロパティマネジメント株式会社 電話：03-3479-3201 (10:00～17:00)

港区地域包括ケアシステム 「在宅医療・療養・介護相談連携窓口」を開設しました。

9月1日に区民、保健・医療・福祉の関係者の皆さんからの在宅医療・療養に関する相談の窓口を赤坂地区総合支所管内に開設しました。

●対象：区内在住で、在宅医療・療養を受けている人とその家族、または関心がある人、在宅医療・療養に関わる保健・医療・福祉の関係者等

●開設時間：平日 午前9時～午後5時(土日、祝日、年末年始は除く)
●場所：赤坂コミュニティがらぎ(港区赤坂4-18-13) 1階
●電話：03-6434-7653 ●ファックス：03-6434-7654

●主な相談事例：
「退院するため、在宅医療をお願いしたい」
「医療処置を受けながら、自宅で療養できるか知りたい」
「医療処置があり、ショートステイが見つからない」等

●問合せ／保健福祉支援部保健福祉課地域包括ケア推進係 電話：03-3578-2328

その他にも、数多くの体験ブースを用意します。詳細は今後設置する、区設掲示板や区有施設のポスター・チラシをご覧ください。総合防災訓練へのご参加、お待ちしております。

●問合せ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

都税事務所からのお知らせ

9月は、固定資産税・都市計画税第2期分の納期です(23区内)

10月2日(月)までに、お手元の納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等でお納めください。納税には、安心で便利なお座振替をご利用いただけます。金融機関・郵便局のペイジー対応のATM、インターネットバンキングやモバイルバンキング、パソコン・スマートフォン等からクレジットカードでも納付できます。詳細は、HPへ。

●問合せ／総務部総務課相談広報班 電話：03-5388-2924

●問合せ【口座振替について】/ 徴収部納税推進課 電話：03-3252-0955 ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

赤坂・青山 地域の活動 vol.15

地域で活躍している方々を紹介!!

NPO法人赤坂氷川山車保存会 理事 恵川 麗子 さん

「NPO法人赤坂氷川山車保存会」とは、平成18年9月に発足以降、赤坂に残る貴重な文化遺産である赤坂氷川山車を修復・保存し、祭礼での巡行やイベントでの展示を通して江戸の粋を守り伝えることで、学術・文化の振興、まちづくりの推進に寄与することを目的に活動している団体です。恵川さんは理事の一員として、この活動に取り組んでいます。

「NPO法人赤坂氷川山車保存会」が発足することになったきっかけを教えてください。

江戸時代より続く赤坂氷川神社の祭礼「赤坂氷川祭」は、古くは神社の宮中神輿を氏子21ヶ町の山車13本が警固の形をとって神領内を巡行するものでした。明治以降、多くの山車は震災や戦災で失われてしまいましたが、奇跡的に赤坂の山車はこれらの被害を免れ、蔵に残されていました。この残存していた9台の山車を復活させることで江戸の粋を後世に守り伝え、氏子地域の人々の結びつきをより強いものにした、また山車を新しいまちのシンボルとすることでまちを盛り上げていきたいとの思いをきっかけに、「NPO法人赤坂氷川山車保存会」は発足することとなりました。

●具体的な活動内容を教えてください。

主な活動内容は山車の「修復・保存」と「巡行」です。1つ目は「修復・保存」についてです。保存会発足以降、山車本体や人形、水引綱を毎年1つずつ修復してきました。平成28年に9体すべての人形の完全修復が完了し、山車本体については5種類4本の復興製作が完了しています。

2つ目は「巡行」についてです。明治以降、電線などの普及により山車が使用されなくなり「赤坂氷川祭」では、10年ほど前まで神輿中心の巡行が行われていました。保存会による山車の修復により、平成19年9月には80年ぶりとなる赤坂氷川山車の巡行が実現することとなり、赤坂氷川祭では毎年山車の巡行を行っています。

●どのような時にやりがいを感じますか?

山車を綱を持つことで曳き手として参加することができます。老若男女問わず曳き手として参加しやすいため、多くの方が楽しみを共有することにやりがいを感じます。また、山車の曳き手として参加したことをきっかけに新たな人との繋がりが生まれ、新たな輪ができた時にも大きな喜びを感じます。

●ここを読んでいる方へメッセージをお願いします。

今年も9月に赤坂氷川祭を開催します。赤坂氷川山車の魅力を知る良いきっかけとなりますので、ぜひご参加ください。また、9月14日(木)、15日(金)17時から21時までTBSショップ横にて山車の展示を行います。ぜひ一度ご覧ください。

●問合せ／赤坂警察署からのお知らせ

「電子マネーのコードを送れ」は「詐欺」です!!!

1 SMSで架空請求
2 電話で架空請求
3 コードを送らせる

●問合せ／警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係 電話：03-3475-0110 (内線2612)

赤坂警察署からのお知らせ

「電子マネーのコードを送れ」は「詐欺」です!!!

●問合せ／警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係 電話：03-3475-0110 (内線2612)

赤坂消防署からのお知らせ

防火防災標語の募集

東京消防庁では、東京の安全と安心を呼びかける「防火防災標語」を募集しています。今年度は「防火防災標語」と「危険物安全標語」を募集します。

防火防災標語

～家族や地域の安全を守ろう～

家族や地域の防災力向上のため、防災訓練への参加、災害時の地域協力体制づくり、地震に対する事前対策や適切な行動を呼びかけるものです。

「防災で守る地域と みんなの笑顔」(平成28年度防火防災標語)

危険物安全標語

～ガソリンや灯油の誤った取扱いによる火災を防ぐ～

過去に「ガソリン」や「灯油」の誤った取扱いをしたために、死者が生じる火災が発生していることから、これらの適正な取り扱いや消火方法を呼びかけるものです。

「危険物 ルールを守って 安全に」(平成28年度救急標語)

応募資格

東京消防庁管内に在住、通勤、通学している方
※東京消防庁職員及び当該職員と同居の家族、並びに東京消防庁管内の消防団員を除きます。

応募方法

①消防署への持ち込み
応募用紙に記入し、赤坂消防署または新町出張所にお持ちください。

②はがき
東京都港区南青山2丁目16番9号「赤坂消防署予防課 標語募集事務局宛」に記入し、郵送してください。

③電子メール
タイトルを「赤坂消防署予防課 標語募集事務局宛」とし、本文に応募作品と必要事項を記入し、送信してください。

しめきり

平成29年11月15日(水)

宛先

〒107-0062
東京都港区南青山2丁目16番9号
「赤坂消防署予防課 標語募集事務局宛」
応募により収集した個人情報については、適正に管理し、目的外に使用することはありません。

最優秀賞、優秀賞を受賞した方に対しては、東京国際消防防災展2018(平成30年5月31日～6月3日)での表彰が予定されています。

●問合せ／赤坂消防署予防課 標語募集担当 電話：03-3478-0119 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaka/>

Vol.02 赤坂青山地域の大使館を訪ねて

ブラジル連邦共和国大使館

第40号から連載で赤坂青山地区にある大使館を訪ねてその国の歴史、文化、観光などの特色についてインタビューをしています。第2弾は、ブラジル連邦共和国大使館を訪ねました。

駐日ブラジル連邦共和国大使館は北青山2丁目1にあり、日系ブラジル人建築家ルイ・オオタケにより設計された、大きく立派な建物です。インタビューに笑顔でご協力くださったのは、アウグスト・パスタナ公使です。

日本と関係の深い国

○歴史
ブラジルは1500年にポルトガル人ペドロ・アルヴァレス・カブラルが発見されたことをきっかけに、ポルトガルの影響を大きく受けることとなります。当時、ポルトガル人はパウブラジルと呼ばれるようになり、19世紀初期ナポレオンがヨーロッパを征服するとイギリスを中心とするナポレオンの大陸封鎖に同意したポルトガル王朝はその難を逃れるため、ブラジルに一時王座を移します。1820年ポルトガル王は帰国しますが、王太子はブラジルに残留しました。王太子は人柄がよくブラジル人から人気を得ていました。1822年王太子はブラジル人に説得され独立を決意し、9月7日にブラジル帝国の皇帝ジョン・ペドロ1世として即位します。その後19世紀終わり頃に皇帝は廃位され共和制になりました。20世紀には日本人の移民が始まり、現在もブラジルには多くの日系人が生活しています。

○見たい、行きたい(観光)
イグアスの滝やアマゾン川はブラジルの観光名所として有名ですが、他にもピラミッドのような形とステンドグラスが美しい教会、首都ブラジリアにある「カドラル・メトロポリターナ」や「サンパウロ美術館」等、中心地サンパウロ近郊にも観光地は多々あります。

○食べたい、飲みたい(食文化)
●シュラスコ:ブラジルを代表する肉料理で、塩をふった大きな肉の各部位を串に差し、直火で焼いて表面をそぎ取ってお皿に盛っていただきます。
●コニーニョ:細く割いた鶏肉を味付けして小麦粉やじゃがいも等で包んで揚げた鶏肉コロッケです。鶏肉が基本ですが、豚肉、エビ、豆等が入っているものもあります。
●カシヤサ:サトウキビから作られる蒸留酒です。ブラジルでは人々の生活にとっても浸透している飲み物です。

駐日ブラジル連邦共和国大使館にて展示会を行います!

天皇皇后両陛下が初めてブラジルへ公式訪問したのは50年前のことです。天皇皇后両陛下の訪問(訪問当時は皇太子同妃両陛下)は両国関係に重要な役割を果たすとともに、ブラジルの文化と経済の発展へ大きな影響をもたらしました。今回の展示会では、天皇皇后両陛下の50年前の公式訪問を主題とした写真を展示するとともに、当時のブラジルの様子を合わせて紹介します。

普段は中々入ることのできない大使館へ入ることができる機会です。ぜひご来館ください。

開催日 9月7日(木)～10月6日(金)
※9月7日(木)は独立記念日のため招待客のみ入場となります。
※一般公開は9月11日(月)からとなります。
※土日祝日は開催いたしません。

時間 10:00～17:00
場所 駐日ブラジル連邦共和国大使館 地下1階 展示室(住所:港区北青山2-11-12)

大使館のtwitterやFacebookにて情報を発信しております。合わせてご覧ください。

第41号

平成29年9月発行

地域の人がつくる地域情報誌

MYタウン 赤坂青山 AKASAKA AOYAMA

SPECIAL TOPICS OF ART

赤坂青山アート特集

赤坂青山アート特集

今号は芸術の秋ということで、アートを特集します。赤坂青山には美術館やギャラリーがたくさんあることはもちろんですが、街を歩いているだけで出会えるアートも多数あることに気がきました。世界中の建築家が注目するビルから、子どもたちが無邪気に遊ぶ遊具まで、いつもは何気なく通り過ぎている場所も、アートというフィルターを通せば、新しい発見があるかもしれません。



Spiral

“スパイラル”は1985年10月、青山にオープンした複合文化施設です。設計は、建築家・横文彦氏が手掛けた。一歩館内に入ったところ、エントランスホール右手に2階へと続く大階段。左手正面には、2階へ向かって大きなスパイラル、いわゆる螺旋状のスロープによって円筒形の吹抜け(アトリウム)が設けられていて、ゆったりとした贅沢なパブリックスペースが広がっています。スパイラルの名前は、この建築構造に由来しているとのこと。館内では、「生活とアートの融合」をテーマに、豊かなライフスタイルの実現を目指して、全フロアから、日々さまざまな提案が行われています。ぜひ一度訪れてみては…!

9月28日(木)～10月9日(月)
窓学10周年記念「窓学展-窓から見える世界-」

△南青山5-6-23 ☎03-3498-1171(代表)
◎11:00～20:00 因無休(施設休館日に準ずる)
☞東京メトロ「表参道」B1、B3出口すぐ
※詳しくはHPをご覧ください



Sunny Hills (微熱山丘)

青山通りから1本入った南青山3丁目の路地に、ひととき目を引く建物があります。伝統的な「地獄組み」という手法で作られたアートのような建物は、東京オリンピックでも注目される建築家・隈研吾氏の作品。台湾のパイナップルケーキブランド“サニーヒルズ”が日本に初出店する際、根津美術館を見て感銘を受け、隈氏に設計を依頼して建てられました。「東京の中に森をつくる」というコンセプトどおり、まるで木立の中のような心地よさ。足を踏み入れた瞬間から、檜の香りがふわりと広がります。夜になると、今度は店内からの淡い光で、建物自体が巨大な灯りのように見えます。意図して設計したわけではないのに、来訪者からはよく「パイナップルがモチーフですか?」と聞かれるそうです。確かに、パイナップルに似ているかも!

△南青山3-10-20 ☎03-3408-7778
◎11:00～19:00 因無休
☞東京メトロ「表参道」A4出口から徒歩約7分



TOTOギャラリー・間

住宅設備機器メーカーのTOTOが運営する、建築とデザイン専門のギャラリーがあります。建築の展覧会という、設計図や骨組みの模型が並び、難しいイメージがありますが、こちらでは出展者が展示室そのものを作品とする、ユニークなギャラリー。中でも珍しいのが、屋外を使った展示。当日は、「緑の教会」等有名な建築家・坂茂氏の企画展が開催中でしたが、中庭には大分県田川市に建設中のクアハウスで用いられている天井の仕組みがそのまま再現されていて、空の中を骨組みが浮かんだような何とも不思議な空間が広がっていました。他にも、実物大のモックアップや模型を展示したり、着工から完成までを定点カメラで追った映像が鑑賞できたりと、五感で建築が身近に感じられるような展示がされていました。入館も無料ですので、普段はなかなか触れることのできない建築の世界を、気軽に体験してみたいかかでしょうか?

2018年1月24日(水)～3月18日(日) 「en(緑):アート・オブ・ネクサス 第15回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館開館展」

△南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル3F ☎03-3402-1010 ◎11:00～18:00
因月曜日・祝日 ☞東京メトロ千代田線「乃木坂」3番出口から徒歩1分

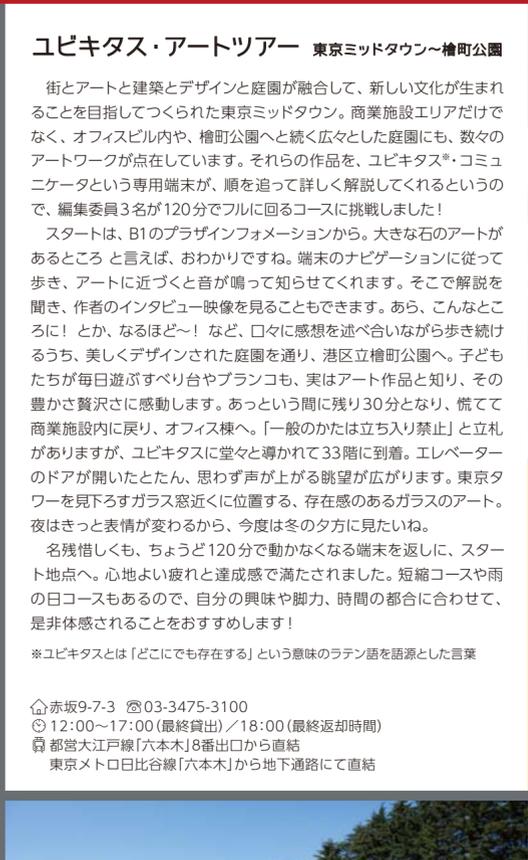


根津美術館

ファッションの最先端と言っても過言ではない表参道。華やかなウィンドウが連なる通称ブティック通りを抜けると今までの輝きとは一変、緑豊かで物静かな佇まいが窺えます。そう、そこは根津美術館です。2009年に建築家・隈研吾氏により新創されました。和風家屋を思わせる大屋根が印象的な本館は、かつてこの地域がお屋敷街であったことを彷彿とさせます。美術館は初代 根津嘉一郎氏が蒐集した日本・東洋の古美術品コレクションを保存、展示するために、二代 根津嘉一郎氏が開館しました。地上2階、地下1階建ての空間は照明や展示方法にこだわりも。さらに、根津美術館の魅力と言えば、茶室と庭園です。茶室はお借りすることもできるそうです。庭園は自然の地形を活かした景観を楽しむことができ、表参道の華やかな喧騒から離れた癒しをもらい、この地がファッションの最先端であることを思わず忘れてしまいそう。常に魅力あふれる展覧会も行っていきます。

9月14日(木)～10月22日(日) 企画展「ほとけを支える-蓮華・雲鼓・天部・邪鬼-」

△南青山5-5-1 ☎03-3400-2536 ◎10:00～17:00(入館は16:30まで)
因月曜日(祝日の場合は開館、翌日休) ☞東京メトロ「表参道」A5出口から徒歩8分



ユビキタス・アートツアー 東京ミッドタウン～檜町公園

街とアートと建築とデザインと庭園が融合して、新しい文化が生まれることを目指してつくられた東京ミッドタウン。商業施設エリアだけでなく、オフィスビル内や、檜町公園へと続く広々とした庭園にも、数々のアートワークが点在しています。それらの作品を、ユビキタス*・コミュニケータという専用端末が、順を追って詳しく解説してくれるというので、編集委員3名が120分でフルに回るコースに挑戦しました!

スタートは、B1のプラザインフォメーションから。大きな石のアートがあるところ と言えば、おわかりですね。端末のナビゲーションに従って歩き、アートに近づくとも音が鳴って知らせてくれます。そこで解説を聞き、作者のインタビュー映像を見ることができず。あら、こんなところに! とか、なるほど〜! など、口々に感想を述べ合いながら歩き続けるうち、美しくデザインされた庭園を通り、港区立檜町公園へ。子どもたちが毎日遊ぶすべり台やブランコも、実はアート作品と知り、その豊かさや贅沢さに感動します。あっという間に残り30分となり、慌てて商業施設内に戻り、オフィス棟へ。「一般のかたは立ち入り禁止」と立札がありますが、ユビキタスに堂々と導かれて33階に到着。エレベーターのドアが開いたとたん、思わず声が上がる眺望が広がります。東京タワーを見下ろすガラス窓近くに位置する、存在感のあるガラスのアート。夜はきつと表情が変わるから、今度は冬の夕方に見たいね。

名残惜しくも、ちょうど120分で動かなくなる端末を返しに、スタート地点へ。心地よい疲れと達成感で満たされました。短縮コースや雨の日コースもあるので、自分の興味や脚力、時間の都合に合わせて、是非体験されることをおすすめします!

*ユビキタスとは「どこにでも存在する」という意味のラテン語を語源とした言葉

△赤坂9-7-3 ☎03-3475-3100
◎12:00～17:00(最終貸出) / 18:00(最終返却時間)
☞都営大江戸線「六本木」8番出口から直結
東京メトロ日比谷線「六本木」から地下通路にて直結



21_21 DESIGN SIGHT

「土木展」、「アスリート展」、そして現在開催中の「『そこまでやるか』 壮大なプロジェクト展」など、私たちの想像もつかない斬新な企画内容で、新鮮な驚きに満ちた体験をさせてくれる21_21 DESIGN SIGHT。東京ミッドタウンのガーデン内に位置し、設計を手掛けたのは建築家・安藤忠雄氏。創立者であり、ディレクターのひとりである三宅一生氏の、服づくりのコンセプトである「一枚の布」に着目し、一枚の鉄板を折り曲げたような巨大な屋根をつくりました。デザインの施設にふさわしい、独創的な造形の建物は必見です。中に入ると、1階はショップスペース。展示スペースのギャラリー1、ギャラリー2は地下になっており、自然光の差しこむエリアとの対比が美しい。展示物はもちろんのこと、天候や時間帯によっても見え方の変化する建築デザインの素晴らしさは、時間を忘れてしばし行きたくなります。

10周年の今年3月、新たなスペースとしてギャラリー3を開設。10月1日までは、カプセルホテルからインスパイアされたインスタレーションを展示。なんと、実際に一夜を過ごすことが可能でして! 興味のあるかたは、急ぎお問い合わせを。

6月23日(金)～10月1日(日)
企画展「『そこまでやるか』 壮大なプロジェクト展」

10月20日(金)～2018年2月4日(日)
企画展「野性展: 闘いならされない感覚と思考」

△赤坂9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン
☎03-3475-2121 ◎10:00～19:00(入館は18:30まで) 因火曜日
☞都営大江戸線「六本木」8番出口から徒歩5分



サントリー美術館

「美を結ぶ。美をひらく。」をミュージアムメッセージにしているサントリー美術館は、2007年に東京・赤坂見附よりここ東京ミッドタウンに移転してきました。「古きものと新しきものを結ぶ/時代の枠組みに縛られず美と美を結ぶ…結ぶことで人と美の新しい関係をひらく」想いは、館内の創りからも肌で感じる事ができます。

入ってまず驚くのは「美術館なのに堅苦しくない」こと! ビルの中にあることを感じさせない贅沢で開放的な空間が私たちを迎えてくれます。この設計を手掛けたのはアノ! 建築家・隈研吾氏。館内は和モダンを基調に木と和紙、そして床材にはサントリーならではのワイスキーの樽材が再生利用されており、終始居心地がよく、和やかな雰囲気でも作品を鑑賞できます。また鑑賞後は、所蔵品をモチーフにしたオリジナル商品はもちろん、日々の暮らしに彩りを与えるセレクトアイテムのショップや、「加賀野 不室屋」監修のカフェ、さらには普段非公開の茶室「玄鳥庵」もあり、展覧会会期中の指定の木曜日にはお抹茶と季節の和菓子がいただけます(9/21、10/5・12・19。各限定50名。1000円+別途入館料)。ぜひ、お買い物の帰りに寄ってみませんか?

9月16日(土)～11月5日(日)
「六本木開館10周年記念展 天下を治めた絵師 狩野元信」

△赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階 ☎03-3479-8600
◎10:00～18:00(ただし土・日曜日は20:00まで開館) 因火曜日
☞都営大江戸線「六本木」8番出口から直結
東京メトロ日比谷線「六本木」から地下通路にて直結



まちなかアート

「天使(?)が導く サインアート」(北青山2丁目)

「花街の名残りを 街灯全体で再現!」(赤坂対馬通り)

赤坂の謎!? 巨大インコ発見?? (赤坂Bizタワー駐輪場)